

大賞は「日陰作戦」

ジュニア部門は浅田さん 第27回那須良輔風刺漫画大賞

第27回那須良輔風刺漫画大賞の審査会が9月27日、神奈川県那須良輔大賞(賞金50万円)に千葉県在住の高橋道子さん(53=千葉県)の「日陰作戦」が選ばれました。ジュニア部門の那須良輔大賞(中学生の部)には浅田元哉さん(湯前中学校2年=上里3)の「2018・米朝春夏コレクション☆」、湯前町長賞には海部夏帆さん



一般部門 那須良輔大賞
「日陰作戦」高橋 道子さん(53=千葉県)

作者談：組体操で培った技術を使って、体を張って選手の皆さまをお守りいたします所存でございます。

(6=熊本第一幼稚園)の「日本こまつた!」が選ばれました。取り組みは風刺漫画家、故那須良輔さんの出身地である本町が平成4年から開催しているもの。漫画集団に所属し、那須さんともなじみのある、漫画家の種村国夫さん、多田ヒロシさん、前川しんすけさんが審査員を務めました。一般部門に179点、ジュニア部門に267点、総数446点の応募があ

り、うち40点が入賞。ジュニア部門には地元小・中学校や遠くは岩手県から、一般部門には北海道から鹿児島県まで、全国各地から多数の応募がありました。ことは「北朝鮮問題」や「アメフトタックル」「東京オリンピック」「異常気象」「災害」などの話題をテーマにした作品が目立ちました。大賞に選ばれた「日陰作戦」は2020年に東京都で開催されるオリ



ジュニア部門 那須良輔大賞
「2018・米朝春夏コレクション☆」
浅田 元哉さん(湯前中2年=上里3)

作者談：アメリカのデザイナー(ドナルド・トランプ氏)と北朝鮮のデザイナー(キム・ジョンウン氏)二人によるコラボTシャツ販売か!?

ンピックをテーマにしたもの。審査員は「真夏のオリンピックの馬拉ソンは大丈夫か、というネタはいくつかあったが、その中で一番おもしろかった。発想の飛び方がすごい。どうやってアーチを支えているのか、2時間以上、よくこの体勢でいられるものだな、と考えれば考えるほど無茶苦茶でおもしろい。本当に暑そうな太陽の表現もすばらしい」と評価しました。ジュニア大賞の「2018・米朝春夏コレクション☆」は「世界の平和が米朝トップ会談をきっかけに、前向きに進行してほしいという作者の心が伝わってくる。和平交渉が成功したときは、こんなTシャツが本当に売り出されるかもしれない。トランプ大統領と金正恩委員長の似顔絵も、だれの真似でもなく「見事」と評価されました。表彰式と全作品の展示は11月11日に「ゆのまえ漫画フェスタ」の会場で行われ、12月ごろからは湯前まんが美術館で作品展を開催する予定です。



一般部門 審査員特別賞
「猛暑の馬拉ソン」
Mr.アルフレッドさん(53=大阪府)

作者談：猛暑の馬拉ソンは、地上は無理!?



ジュニア部門 湯前町長賞
「日本こまつた!!」
海部 夏歩さん(6=熊本市第一幼稚園)

作者談：にほんこまつた!! にほんこまつてないかな。



記者発表では、机の上に入賞作品がずらりと並んだ